

- ・ 市議会3月定例会での議論を踏まえ、4月16日に第4回鶴岡市こどもの遊び場に関する協議会を開催した。
- ・ こどもの遊び場の利用料の軽減に向けては、遊びに関連する地域資源をリストアップし、**対象となる施設を公募・選定する仕組みの構築が必要**と考えている。
- ・ 一方で、事業の実施が遅れることにより、成長していくこどもが取り残されることのないようにする必要がある。**令和7年度は、8年度以降の公募の仕組みの構築に向けた実証事業として、以下の3つの施設の利用料を軽減するとともに、遊び場についてのアンケート・ヒアリング等の調査を行う。**

## 【令和7年度におけるこどもの遊び場利用料軽減実証事業（案）】

- **事業概要**
  - 実施期間 令和7年8月1日～令和8年3月31日
  - 軽減内容 市内在住の0歳～小学生及び付き添いの保護者1名の利用料を無料とする。
  - 軽減方法 3施設を無料利用できる共通パスポート「遊び場利用パスポート」を配付する。
- **対象施設** こどもが主体的に興味を持ち、夢中になって心と身体を動かして行う行為である「遊び」を提供できる場として、以下の①～④の観点を満たす、タイプの異なる3施設を選定。
  - ① 屋内であること
  - ② こどもの個々の興味によって多種多様な遊びができること
  - ③ 親子の遊びやこどもの見守りができること
  - ④ インクルーシブな環境を整えることができること

施設	規模	立地	設置者	運営者	遊びの特徴
キッズドームソライ	大規模	市街地	民間企業	民間企業	大規模遊具/ものづくり/学び
小堅ランド	小中規模	郊外地	民間団体	民間団体	遊具/ものづくり/交流
山形県民の海・プール スパール	大規模	郊外地	行政	民間団体	多様な水遊び

## ○ アンケート調査等

こどもの遊びの内容と環境に必要な要素、保護者も居心地が良いと思える要素等について、利用者や運営者にアンケート・ヒアリングを実施し、今後の検討のための基礎資料とする。

## ○ 実証事業の全体像

